

10月27日：利食い売りが広がり続落

昨日は利食い売りが広がり幅広い銘柄が売られた。

ホーチミン市場のVN指数は心理的な節目である950ポイントを維持できず、0.46%下落し946.47ポイントで引けた。

同指数は前日、4.62%上昇する場面もあったが、1.09%下落し引けていた。

昨日は大型株から中小型株まで幅広く売られた。下落幅は0.45%から1.07%のレンジだった。

大型株で構成するVN30銘柄では、16銘柄が下落したのに対し上昇したのは7銘柄だった。

大型株ではサコムバンク (STB)、製糖のタインタインコン (SBT)、ミリタリーバンク (MBB)、小売のビンコムリテール (VRE)、SSI証券 (SSI)、ITのFPT(FPT)などが下落した。

これら大型株の下落幅は1.3%～5.7%だった。

証券、鉱業、エネルギー、IT、小売、銀行などのセクターが売りの中心だった。

大型株の利食い売りでVN指数は二日続落したと、タインコン証券 (TCSC)はデイリーレポートで述べている。

出来高の大きさを考えると、投資家は当初は様子見だったが、利食い売りが広がるにつれ狼狽売りが広がったようだと、同証券は見ている。

出来高は4億56百万株、売買代金は8.73兆ドン (約3億77百万米ドル) だった。

市場のセンチメントは依然として強気だが、慎重になっている投資家が増えている。市場の方向性が見えるまで様子見の投資家も増えるだろうとTCSCは述べている。

短期的にVN指数は5ポイント程度下落し、940ポイントを付ける場面もあると、同証券は予測している。

ハノイ取引所では、HNX指数は1.37%下落し137.13ポイントで引けた。

同指数は前日の月曜日、1.88%下落していた。出来高は56百万株、売買代金は7,900億ドンだった。

外国人投資家は1,687億ドンを売り越したが、月曜日に比べ約60%減少した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。